

東北大学新聞(132号)

号	132
発行年	1981-11-15
URL	http://hdl.handle.net/10097/55885

全国学生統一行動に思う

く全国で一〇万人が決起したと発表された

全員加盟制自治会の理念の再認識を！

会、東北大学においては法・経・理学部および教養部の四自治会十一月十、百全學生統一行動の日にスライキを行ったところの数ある。

全国では三十四大学七十六自治会、これは次のように起因している。全員加賛制自治会の理念上、その最高決議機関で、スト決議があれば、そこに「厚」のすべての学生は決起したことにな

る。しかし多くの学生は、授業に出ていたり、寝ていたりして、実際に行動するのはごくわずか、という具合だ。

それでは、なぜ学生大会（有志大会）によって全学生の意向として決まったはずの11・12ストが、このようなことになってしまったのだろうか。

最も先に考えられることとして
学生大会自体の不十分性があるだ
ろう。「なぜこのような行革に反
対するのか」「学生のストライキ
とはどんなものであるか」「スト

ライキの効果はあるのか”等多くの疑問が存在し、解消しないまま学生大会は有志大会などとして成

たい。

アメリカが世界最大の食糧輸出国であり「世界の貿易量の五六％を輸出している」とはよく知られている。一丁半は、

ソ連がアメリカから小麦を大量
買い付けした時、また七三年、
アメリカが国内価格高騰を理由

書評
——
食糧

書

に大豆の「禁輸」を宣言した時
世界は食糧危機にゆれた。ほと
んどアメリカからの輸入に頼る

日本ではその影響は甚大であつた。そして八〇年、ソ連のアフガン侵攻に対する制裁措置としてカーター大統領は対ソ穀物禁輸政策を施行。こうして度量は

核兵器、石油に次いで「第三の

立しズト権立」ということになったのである。このような状態であることを見るに、先づの結果は当然のなり行きといえよう。ただ今回の統一行動を昨年のそれと比べると、動員数、盛り上りの点では劣るが、質の部分でより

学大でスト決議を

あげることの効果

以上のような状況と分析を踏まえ今回の統一行動を考えてみると大きく分けて二つの問題点があったと思われる。まず第一にストをやるとどうぞと云うという意味をもち、それこそ半ばで決壊するところのほうこそより効果的であるところ

今回の臨調路線による行政改革反対のとり組みは、クラス決議等でもそれほどなかったわけである。学生のストは、自ら

ある。しかし、國際收支も輸出
國農民の反對などがあるために
「食糧川武器は幻想に過ぎない」
という意見も多い。はた
る日本の農村は、低賃金労働
力の補給源として、高度経済成
長に大きな役割を果たしてき
た。農村から都市へ的人口流出

してそこでどうかが、著者は様々な意見を紹介した上でこう結論する。「食糧戦略なるものは……中略……ある国民の生死を左右する。」

現在「財界や「労働提携」をやる

大島清著

農学部二年 S・Y 岩

現実の底に存在して威力を発揮する冷酷な力なのである。」¹曰する本人はこうした観点に立てて農業・食糧問題を考えていかなければならぬ。著者は「これ以上で農業を追いつめ縮小させて出稼

きや兼業労働者の安い労働力が解
非出されると、それが労働力の二

「食糧と農業を考える」

大島清著

農学部二年 S・Y

岩

な 盛

大豆の「暴騰」を宣言した時の農家は驚愕恐慌に陥れた。ほとんどの世界は食糧危機に瀕する中、アメリカからの輸入に頼る本ではその影響は甚大であつた。そして八〇年、ソ連のアフシム侵攻に対する制裁措置として穀物カーター大統領は対ソ穀物業に石油に次いで第二の禁輸令を出した。かくして食糧は日本に自らを断ち、戦後日本非出動労働力、それが労働力の不足を生じ、二重苦となつてゐる。

掲げる一部労働組合は「安い農産物の輸入を増やすべき」とし、農業をつぶして独占資本の利益を拡大すると主張し、不利な農地の宅地並課税（化を叫んでいる。著者は「これ以上農業を追いめ縮小させて出家き若葉労働者の安い労働力が解放される」ために、すべての人

AMNESTY

(アムネスティ)とは

仙台においても早く活発な活動を

暴行三原則を犯ものではな
（但）この議論は主が貧富加
制自治会といふ理念をもち、自
が自治会であるを認識してい
たが、我々貧富加
制自治会を「ス
を」た「た」を
る。また、自
治、た、た、考
るならば我々は固
然の決意もある
ものに対して一定
の強制力を持つは
すである。（二）議
会の強制力は當然

継続的で運動の深化

を考えた方針を

第二の点としては、今回は運動の作り方として、学費値上げ反対だけでなく、臨調反対の行政改革反対としたわけだが、多くの学生には本當にそう考え、臨調路線の行政改革反対のほうがよいといきなかつた。そして、その後11・12が終ったもう終らない運動自体もほとんど盛り上がりなかつた。むしろ風潮を感じられた。11・12に止まらず、継続的かつ運動の強化、つまりなせこの行革はいけぬのか、この行政改革はなぜ目的としているのか等々も問入れた運動が作りなかつたというところだ。

我々は、我々の要求を表明し、大学に拘げる学園研究の自主を守るというところから出発し、社会問題をもやめた形で運動を作っていくかなければならない。このコースによって学んだ教職主任がし、特に、全加盟制自治会を理想をよめて多くの学生が主体的に運動するようなものを作っていくかなければならないのではないだろうか。

考えてみたい。

安くてうまい店
コンパ大歓迎
1,000円より
大衆酒場
金丸

イナリ小路店 ☎ (25) 0906~8
南町通店 ☎ (23) 4048

[illegible]

當時の日本は、ベトナム、朝鮮、台湾など多くの政治的難問に直面しながら、彼ら救済役の問題を解決するための有効な経路も運動も作られなかった。そういう時、元衆議院議員であった猪俣造三氏を中心に結成された。しかしその単には並担でなく、人気歌手のケネズ・チャンのファンクラブのメンバーになつた過酷もある。最近になつてようやく少数の進歩的な人々から、主婦、サラリーマン、学生へ広がってきた。そして現在、貧富を平準化する名目増加し、三四良民の囚人スタイル等、随隨に活動している。このムネステイの活動が直面している大きな問題がある。それは財政的困窮である。特に日本へ次第である。

これは「朝鮮六国の中貧しいアムム」に「ステ」と呼ばれたところもある。政治難に悩まされてはいる。これはムネステイという組織、またそのボランティア団体である。いりかなる政治団体、宗教団体からも独立した、徹底的に市民による運動であるというたぬなである。

このようにムネステイの活動は非善に厳しく、はなはなしいといふよりは地盤を舞台に立たないものである。そのため東北交災、仙台市においてもなかなか非善な活動は行なうことが出来な。動きがでるが現状である。しかし、その重要性は誰かが強めていけるところなので、一日も早くはなはなしい活動をしてもらいたいと願う次第である。

東北大学学友会新聞部の広告

東北大学新聞

予約購読をぜひつけてます

TEL 27-6200

— 2nd floor —

部員募集中!

フットボール
君のやる気!!

北門

片平地区

グラウンド

公孫樹食堂

南門

部室

夕方5:00~6:00

